

## 松竹、LINE、Sproot が「松竹DXコンソーシアム」を設立

2020.09.10 エンターテインメント関連サービス

---

**映画・演劇等のコンテンツや映画館・劇場のDX推進、  
顧客データベースの整備と分析により、新たなエンタテインメント体験の価値を提供**

松竹株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：迫本 淳一）、LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）、及び株式会社Sproot（本社：東京都港区、代表取締役：渡邊洋行）は、映画・演劇等のコンテンツや映画館・劇場等のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進とマーケティングの高度化を目的とした「松竹DXコンソーシアム」を設立することとなりましたので、お知らせいたします。



近年、エンタテインメントにおける「リアルな場で人と共感する」という体験は多様化し、オンライン（デジタル）との連携は活発になり、様々なコンテンツが次々と生まれています。しかし、新型コロナウイルス感染症が流行し、オフライン（リアル）のコミュニケーションが閉ざされ、エンタテインメント業界は深刻な打撃を受けました。予定されていた公演の多くが中止され、急速オンラインへ置き換えられ、これまで特別だったオンライン配信（公演）が当たり前の時代になりました。

この度、三社で設立する「松竹DXコンソーシアム」では、リアルをオンラインに置き換えるだけではなく、オフラインとオンラインの融合（OMO）を推進し、新たな顧客体験を創造します。まずは、映画館のDXの推進、顧客データベースの集約と分析によるカスタマージャーニーの可視化より、顧客に対し高価値な映像体験の提供を目指します。オンライン配信におけるマーケティングの高度化により、オフラインに近い体験を実現する新たな配信サービス等を実現し、顧客満足度の一層の向上を図ります。

松竹が展開する映画・演劇・お笑い等のエンタテインメント・コンテンツと映画館・劇場等の施設、LINEのプラットフォーム・先端技術及びデジタルマーケティングに関する知見、Sprootのエンタテインメント関連ビジネスのデジタル化ノウハウを融合し、エンタテインメント業界のDXを牽引することを目指します。

---